



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 神姫バス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9083 URL <http://www.shinkibus.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長尾 真

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長

(氏名) 永井 勝浩

TEL 079-223-1243

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	31,850	4.9	1,088	8.3	1,236	13.6	782	14.0
25年3月期第3四半期	30,353	1.1	1,005	△6.1	1,088	△7.7	686	22.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,025百万円 (30.9%) 25年3月期第3四半期 783百万円 (46.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	25.97	—
25年3月期第3四半期	22.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	48,976	33,805	69.0	1,120.78
25年3月期	47,819	32,934	68.8	1,091.67

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 33,785百万円 25年3月期 32,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	3.8	930	△8.5	1,100	△5.3	1,500	3.3	49.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	30,860,000 株	25年3月期	30,860,000 株
26年3月期3Q	715,418 株	25年3月期	708,107 株
26年3月期3Q	30,147,877 株	25年3月期3Q	30,153,426 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策による円安・株高が進行し、景気は緩やかに回復基調にあるものの、円安による原材料費・燃料費の高騰や電気料金の値上がり等、先行きの不透明感は払拭できない状況が続いております。

このような情勢のなかで、当社グループは、企業価値増大に向け、バス事業を基盤としながら、レジャーサービス業での新規出店等を通じて安定した収益の確保に注力してまいりました。結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1,496百万円（4.9%）増の31,850百万円、営業利益は前年同期比83百万円（8.3%）増の1,088百万円、経常利益は前年同期比148百万円（13.6%）増の1,236百万円、四半期純利益は96百万円（14.0%）増の782百万円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。なお、売上高、営業利益はセグメント間の内部売上高又は振替高控除前の金額であります。

① 自動車運送

乗合バス部門は、一般路線バスでは、定期券の販売が好調に推移したことに加え、公営バスからの受託系統が増加したこと等により前年同期に比べ増収となりました。また、高速バスは、ワイドシート車両の導入や高速バス情報サイトの立ち上げ等により、旅客サービスの向上を図りました。タクシー部門は、稼働数の増加により増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比232百万円（1.7%）増の13,584百万円となりましたが、営業損益は人件費及び燃料費の増加等により前年同期に比べ5百万円（△1.4%）悪化し、389百万円の営業損失となりました。

② 車両物販・整備

車両物販部門は、車両部品及びタイヤの販売が増加したことに加え、自動車販売が好調に推移したことにより増収となりました。また、整備部門は、バス搭載機器等の受注が減少したこと等により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比373百万円（7.4%）増の5,416百万円、営業利益は21百万円（7.3%）増の316百万円となりました。

③ 業務受託

車両運行管理部門は、既存顧客において一部解約はありましたものの、新規顧客の獲得等により増収となりました。経営受託部門は、指定管理施設の減少により減収となりました。介護部門は、サービス付き高齢者向け住宅「青山の郷」及び併設するデイサービス訪問介護施設「ケアサービス神姫あおやま」の稼働増により増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比59百万円（△2.5%）減の2,327百万円となりましたが、営業利益は介護部門の収支が改善したこと等により前年同期比40百万円（29.5%）増の179百万円となりました。

④ 不動産

販売部門は、分譲地販売区画数は前年同期並となりましたが、建物販売戸数が増加したことにより、また、建設部門は、大口工事の完成に伴う売上を計上したことにより増収となりました。賃貸部門は、既存賃貸先の賃料改定等により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比264百万円（10.1%）増の2,885百万円、営業利益は66百万円（7.2%）増の992百万円となりました。

⑤ レジャーサービス

飲食部門は、カフェ事業において三ノ宮店が好調に推移したことに加え、JR姫路駅前ビルの再開発等の影響により姫路店の集客が増えました。サービスエリア事業は出雲大社遷宮等による観光客の増加やスナックコーナーのリニューアル効果等により加西店が増収となりました。また、FC事業においてサルヴァトーレ・クオモ・アンド・パウル（イタリアンレストラン）を新規出店したこと等により、前年同期に比べ増収となりました。レンタル部門・TSUTAYAは、レンタル・物販収入ともに客数の減少により減収となりました。また、遊技場部門は、両店舗のリニューアルや1円パチンコの拡大など、増客施策を実施してまいりましたが、遊技者人口の減少や近隣店との競合により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比121百万円（△2.0%）減の5,887百万円、営業利益は飲食部門における新規出店費用の発生等により前年同期に比べ62百万円（△43.3%）減の82百万円となりました。

⑥ 旅行貸切

旅行部門は、手配旅行が前年同期に比べ減収となりましたが、30周年イベント中の東京ディズニーリゾートへのツアーや屋久島へのクルーズツアー等の募集型企画旅行が好調に推移したことにより増収となりました。貸切バス部門は、効率的な配車による日車収入の増加により増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比164百万円(6.8%)増の2,607百万円となりました。営業損益は前年同期に比べ36百万円(42.3%)改善しましたが、49百万円の営業損失となりました。

⑦ その他

コンビニエンス部門は、ファミリーマートの運営店舗数を増やしたことにより、また、化粧品販売部門は、直営を含む2店舗を出店したことにより増収となりました。清掃・警備部門は、車両・建物清掃や放置車両確認業務の契約が減少したこと等により減収となりました。農業部門はトマト等の生産に加え、農家から農産物を集める集荷場の運営を拡大しました。以上の結果、売上高は前年同期比392百万円(37.4%)増の1,442百万円となりましたが、営業損益は、コンビニエンス部門の店舗開設費用の発生等により前年同期に比べ32百万円(△165.6%)悪化し、51百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,157百万円増加し、48,976百万円となりました。増減の主なもの、現金及び預金の増加1,737百万円、有形固定資産の増加267百万円、自動車運送業における補助金未収の減少853百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ286百万円増加し、15,171百万円となりました。増減の主なもの、旅行代金等の前受金の増加338百万円、リース債務の増加281百万円、未払法人税等の減少277百万円等であります。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加632百万円、その他有価証券評価差額金の増加242百万円等により、前連結会計年度末に比べ870百万円増加の33,805百万円となり、自己資本比率は69.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年11月5日に公表した予想を変更しておりません。今後の事業環境や収益見通し等を見極め、業績予想の修正の必要性があれば速やかに修正を開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,157	8,894
受取手形及び売掛金	2,020	2,000
未収運賃	738	627
有価証券	90	49
商品及び製品	425	464
仕掛品	43	145
分譲土地建物	822	510
原材料及び貯蔵品	91	104
その他	1,758	1,041
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	13,136	13,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,763	23,954
減価償却累計額	△15,838	△16,173
建物及び構築物（純額）	7,924	7,780
機械装置及び工具器具備品	2,699	2,990
減価償却累計額	△2,226	△2,207
機械装置及び工具器具備品（純額）	473	783
車両運搬具	12,610	12,216
減価償却累計額	△10,677	△10,551
車両運搬具（純額）	1,933	1,665
土地	16,408	16,407
リース資産	3,822	3,909
減価償却累計額	△1,957	△1,774
リース資産（純額）	1,864	2,134
建設仮勘定	31	132
有形固定資産合計	28,636	28,903
無形固定資産		
のれん	37	28
その他	291	280
無形固定資産合計	329	309
投資その他の資産		
投資有価証券	3,366	3,799
その他	2,733	2,504
貸倒引当金	△383	△366
投資その他の資産合計	5,717	5,937
固定資産合計	34,682	35,150
資産合計	47,819	48,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,059	1,104
短期借入金	309	789
1年内返済予定の長期借入金	681	435
リース債務	707	759
未払金	3,120	3,096
未払法人税等	456	178
事故補償引当金	10	10
賞与引当金	885	776
過年度雑収計上旅行券引当金	15	15
その他	1,923	2,073
流動負債合計	9,168	9,237
固定負債		
長期借入金	1,035	901
リース債務	1,240	1,469
退職給付引当金	596	597
役員退職慰労引当金	114	125
負ののれん	2	0
その他	2,728	2,840
固定負債合計	5,716	5,934
負債合計	14,885	15,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,235	2,235
利益剰余金	26,880	27,512
自己株式	△419	△424
株主資本合計	31,835	32,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,080	1,322
その他の包括利益累計額合計	1,080	1,322
少数株主持分	18	19
純資産合計	32,934	33,805
負債純資産合計	47,819	48,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	30,353	31,850
売上原価	22,613	23,745
売上総利益	7,740	8,104
販売費及び一般管理費	6,734	7,015
営業利益	1,005	1,088
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	40	42
持分法による投資利益	24	19
その他	81	123
営業外収益合計	162	200
営業外費用		
支払利息	19	11
固定資産除却損	22	22
不正関連損失	17	—
その他	19	18
営業外費用合計	79	52
経常利益	1,088	1,236
特別利益		
固定資産売却益	19	27
運行補助金	143	177
車両等購入補助金	56	7
投資有価証券売却益	—	18
負ののれん発生益	52	—
特別利益合計	271	230
特別損失		
固定資産除却損	—	11
固定資産圧縮損	35	2
貸倒引当金繰入額	84	—
特別損失合計	119	13
税金等調整前四半期純利益	1,241	1,453
法人税等	554	670
少数株主損益調整前四半期純利益	686	783
少数株主利益	0	0
四半期純利益	686	782

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	686	783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	240
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	96	242
四半期包括利益	783	1,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	783	1,025
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物 販・整備	業務受託	不動産	レジャーサ ービス	旅行貸切	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	13,289	3,394	2,359	2,252	6,008	2,377	29,682	671	30,353
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	62	1,647	27	369	—	64	2,171	378	2,550
計	13,352	5,042	2,387	2,621	6,008	2,442	31,854	1,049	32,904
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△384	295	138	926	145	△85	1,034	△19	1,015

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備、農業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,034
「その他」の区分の損失(△)	△19
セグメント間取引消去	△9
四半期連結損益計算書の営業利益	1,005

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「車両物販・整備」セグメントにおいて、連結子会社である神姫産業株式会社の株式を追加取得したことにより負ののれん発生益を計上しております。

当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において52百万円です。

なお、この負ののれん発生益は特定の報告セグメントに係るものではないため、全社の利益として認識しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物 販・整備	業務受託	不動産	レジャーサ ービス	旅行貸切	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	13,527	3,927	2,300	2,597	5,887	2,541	30,781	1,068	31,850
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	56	1,488	27	287	—	66	1,926	373	2,300
計	13,584	5,416	2,327	2,885	5,887	2,607	32,708	1,442	34,151
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△389	316	179	992	82	△49	1,131	△51	1,079

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備、農業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,131
「その他」の区分の損失(△)	△51
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益計算書の営業利益	1,088

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。